33 01 03 01 01 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月21日(木)

事務事業	行旅病人・死亡人対応及び法外援護事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3305
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	行旅病人及行旅死亡人取扱法 深谷市法外援護実施要綱 深谷市外国人未払医療費対策事業補助金交付要綱				
中項目	200003 地域で支え合って生活できるまちづくり						
小項目	200001 地域福祉の推進						

事業概要	生活に困窮する市民等に対し、特定の法令に該当しない場合や緊急に援護を必要とする場合に、必要な援助を行うものである。
目的 ※何のために	生活に困窮しているが法令で対応できない方を救済する。
対象 ※誰・何を対象に	市内において生活に困窮している方のうち、法令で対応できない方。
手段 ※どのように	出産・医療・移動に対する援護を原則として現物給付で行う。（医療費の支払い、近隣市の駅へ旅客運賃分切符の発行等）
成果 ※何を求めるか	法令で対応できない方の福祉の増進が図れる。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	03	民生費	01	社会福祉費	01	社会福祉総務費	法外援護事業	22,696
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 法令で対応できない生活困窮者への援助	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	1,256,000	1,525,000	1,337,000	617,000	617,000	
	決算額	851,111	230,984	22,696	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	698,760	0	0	0	0	
	一般財源	152,351	230,984	22,696	617,000	617,000	
人件費	従事職員数(人)	0.15	0.12	0.27	0.32	0.32	
	人件費相当試算 ※1	1,166,850	933,840	2,122,470	2,607,360	2,607,360	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		2,017,961	1,164,824	2,145,166	3,224,360	3,224,360	

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	援護を行った件数（切符の交付）	目標値	件							■
			実績値		5.00	5.00	9.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		援助件数の大小は行政の努力で左右されるものでないことから、目標値は設定しない。							
		切符を交付した件数									
■	活動指標２	行旅死亡人対応件数	目標値	件							■
			実績値		5.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		件数の大小は行政の努力で左右されるものでないことから、目標値は設定しない。							
		実対応件数									
■	成果指標１	要援護者対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		援助が必要な方に必要な援護を完全に行うことを目標とするため１００％とした。							
		対応した件数／判断した件数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 移動援護（切符を交付）については、平成３１年度は９件であった。行旅死亡人対応件数については、平成３０年度の１件に対し平成３１年度は０件であった。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 援護が必要な方に対し、必要な援護を行うことができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	福祉政策係長　関根　秀典

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	
達成状況 及び その効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	行旅病人・死亡人対応及び法外援護事業	担当課	福祉政策課	担当係	福祉政策係	管理番号	3305

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

年度毎に件数の増減はあるものの、緊急に援護を必要とする方に対し、迅速に対応することができた。引き続き、本事業の目的を踏まえながら適切迅速に対応していく。

評価者	福祉政策課長　清水　良保

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

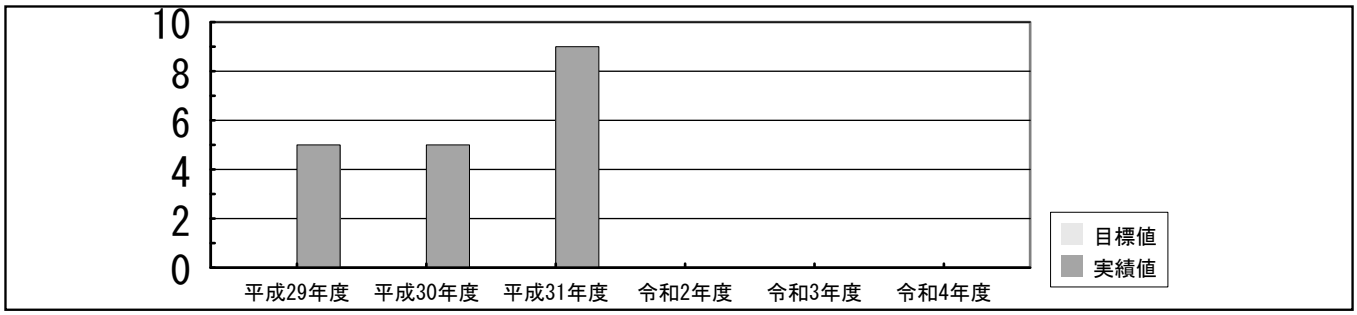
改善・改革案	

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

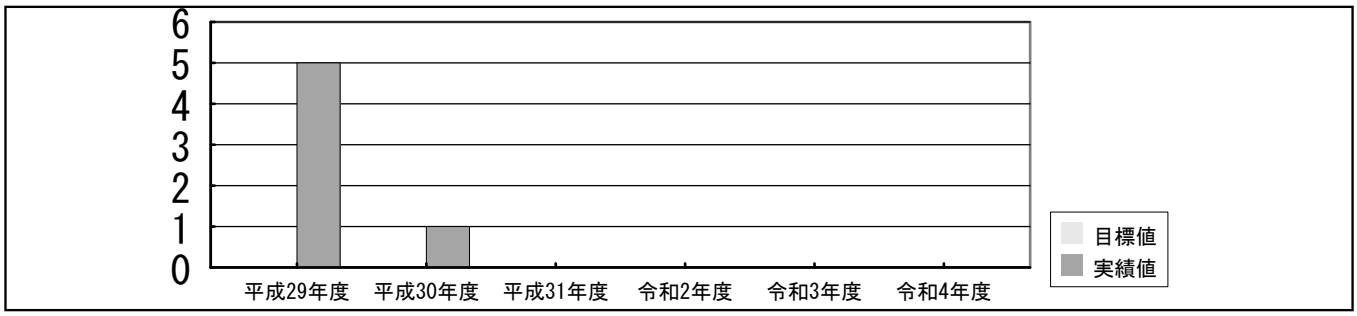
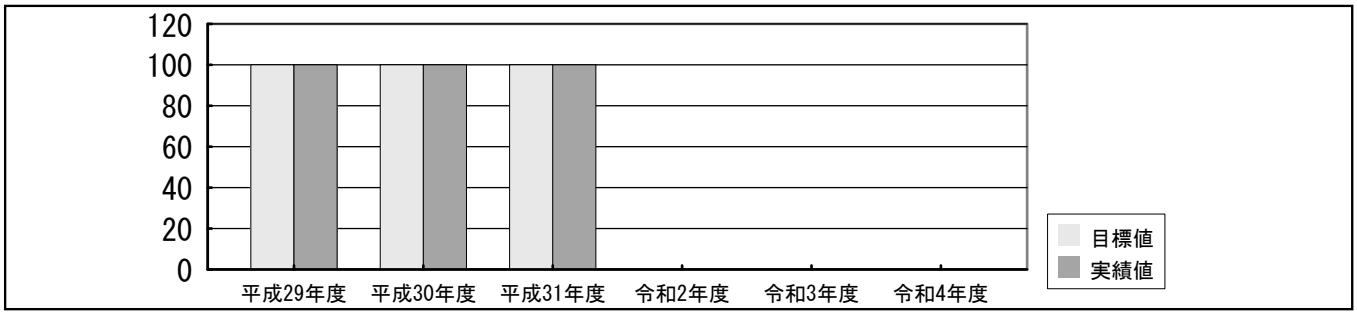
今後の課題	

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	援護を行った件数（切符の交付）



区分	活動指標２	指標名	行旅死亡人対応件数



区分	成果指標１	指標名	要援護者対応率